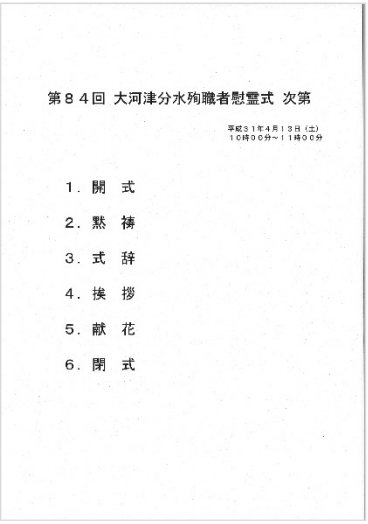
第84回大河津分水殉職者慰霊式

1. イベント概要

日　時：平成31年4月13日(土)10:00～11:00
会　場：大河津出張所構内
内　容：大河津分水工事などで殉職された100名の方を慰霊する式典を行いました。
主催者：信濃川河川事務所
参加者：およそ60名


第８４回 大河津分水殉職者慰霊式 次第

平成３１年４月１３日（土）
１０時００分～１１時００分

1．開　式
2．黙　祷
3．式　辞
4．挨　拶
5．献　花
6．閉　式

○大河津分水殉職者慰霊式について

慰霊式は、分水路工事15ヶ年間（M42～T12）の殉職者のため、渡辺又二・田沢実入・石原三根市等（有志・在官者等）が発起人になって寄付金を募り、大正12年(1923年)10月に西蒲原郡国上村字石瀬地内（現燕市渡部字石瀬地内（旧分水町））の分水路河岸（夕くれの滝）に慰霊碑を建て、祭礼を執行し、ご冥福を祈願したのが始まりです。（当時に殉職者84名の方のお名前を石碑「大河津分水工事殉職之碑」に刻印）

翌大正13年(1924年)10月には、第1回目の慰霊祭を挙行し、以来2～3年毎に執行していましたが、昭和11年(1936年)5月には旧分水第二公園へ遷座し、その後は毎年欠かさず継続して実施しています。（戦時中及び終戦直後一時中断）

現在は、その後の信濃川特修工事及び大河津分水完工後の維持管理工事等を行うとて殉職された16名（当初40年間が最終）の方を含め、100名の方のお名前が石碑に刻印されています。

昨年の実施状況

大河津分水工事殉職之碑

石碑・記念碑の位置図

大河津出張所の周辺には、慰霊碑の他にも大河津分水工事に関わる石碑・記念碑があります。

一、信濃川治水紀功之碑
二、青泉栄一君碑
三、信濃川特修工事従業員一同碑
四、信濃川特修工事竣功記念碑
五、大河津分水工事殉職之碑
六、原堰改修記念碑
七、青銅有形文化財洗堰碑

慰霊式は大河津分水工事殉職之碑の前で挙行しました。

2. イベント状況

桜咲く青空のもと、第84回の大河津分水殉職者慰霊式を執り行いました。殉職者の名前が刻まれた大河津分水工事殉職之碑の前に献花台を設け、自治体の首長をはじめ関係機関の方々が参列し、大河津分水建設の尽力への感謝とともに慰霊の想いを込めて挙行しました。

会場は信濃川や大河津分水を一望できる高台に建立された大河津分水殉職之碑の前に設け、桜が咲き誇る中での挙行となりました。

開式前には、参列者の方々から大河津出張所にお集まりいただき、大河津分水路改修事業のパネル等をご紹介しました。

黙祷の様子。殉職者への感謝と慰霊の想いを込めて、参列者約60名の方々が黙祷を捧げました。

大河津出張所の田代出張所長は「大河津分水路を適切に管理し、本来の機能を維持することをお約束します」と式辞を述べました。

献花は参列者全員が行いました。写真は燕市の鈴木市長で「先人の偉業を語り継ぐことが燕市の責務」と挨拶し献花されました。

一般の方々も献花され「多くの方々の犠牲と人力があって、今の大河津分水があることを再認識しました」とお話しされていました。